2027年度
高校入試
入試問題傾向

麹町学園女子高等学校
KOJIMACHI GAKUEN GIRLS' Senior High School

【 推薦入試〈総合型〉】

作　　文（縦書き600字　50分）

〇問題作成方針

「自己理解力」「自己表現力」「論理的思考力」を測る作文を課します。

〇出題内容と解答上のアドバイス

〈作文を書く際のポイント〉
・問題の内容を確実に読み取り、必要な要素を過不足なく盛り込む。
・文章の構成を意識し、読み手に自分の主張が伝わるようにする。
・言葉の係り受けに注意し、漢字の間違いや話し言葉の使用を避ける。
・その他の原稿用紙の使い方など、作文の基本的なルールについても、実際に書いて慣れておく。

〈アドバイス〉
テーマは毎年異なりますが、以下の内容はあらかじめまとめておくと作文の材料となります。
・中学校までのこと
・これからの高校生活のこと
・さらに東洋大学での学生生活や将来の目標など

〇受験生へのメッセージ

入試本番を迎える前に過去問で作文を書き、中学校や塾の先生に添削してもらいましょう。添削内容を基に書き直すことで文章の質が上がり、書き方のコツがつかめます。さまざまなテーマで練習を繰り返せば、入試当日にも自信を持って臨むことができます。

面接(個人)　（5分程度）

〇方針

質問に的確に応答し、自分自身に関することや意見を自分の言葉で伝えようとする姿勢を評価します。
また、協働して前向きに学ぶ姿勢、学校生活に対する意欲を評価します。

〇質問内容と回答アドバイス

〈内容〉
・本校を志望した理由、中学校で頑張ったこと、入学後の学業や将来の目的意識、自分自身について、日常や社会への関心などを尋ねます。

〈アドバイス〉
・面接官の目を見て、「自分の言葉」ではっきりと伝えましょう。そのために、中学校での経験を振り返り、自分の長所や短所を整理した上で、面接官に自らの考えや意欲を具体的に伝えましょう。

〇受験生へのメッセージ

面接は試される場ではなく、「自分自身を表現できる場」 と捉え、自らの性格や考え方、経験から得たものを整理しておくことが大切です。面接官に答える際は、自分の人柄や考えがしっかり伝えられるように、具体的な理由やエピソードを示しながら「自分の言葉」に自信をもって臨んでください。

【 推薦入試〈英語型〉】

英 語 リ ス ニ ン グ （約20分　80点満点）

○問題作成方針

英検準2級程度のレベル・形式に準拠して作成します。
対話文とナレーションを聞き、必要な情報を正確に聞き取る力を問います。

○出題内容と解答上のアドバイス

〈出題内容〉
・対話文を聞いて答える問題10問・ナレーションを聞いて答える問題10問の計20問です。
・すべて4択問題で、英文は1度だけ放送します。
・対話文では、会話を聞いて質問に答えます。
・ナレーションでは、まとまった英文を聞いて質問に答えます。

〈アドバイス〉
・選択肢を先に確認し、何を聞き取ればよいのかを意識して聞きましょう。
・数字、曜日、時間、場所などの具体的な情報に注意しましょう。
・先に聞こえてきた単語や選択肢の単語だけで判断せず、英文全体の内容から答えを考えましょう。
・分からない問題があっても、そこで考え続けず、次の問題に集中しましょう。
・「聞こえた単語」ではなく「聞いた内容」を理解することを意識しましょう。

○受験生へのメッセージ

中学校の授業での学習を大切にし、教科書の英文を音読して、英語の音に慣れておきましょう。
英検準2級の教材や過去問題を繰り返し学習することも効果的です。解いた問題は、聞き取れなかった音を確認し、その後、もう一度自分で言えるようになるまで音読してみましょう。「自分が言える英語」は、次に同じ英語を聞いたときにはっきりと聞き取れるようになります。

面接（個人） 日本語＋英語 （10分程度　20点満点）

○方針

英語・日本語ともに、質問に的確に応答し、自分自身に関することや意見を自分の言葉で伝えようとする姿勢を評価します。英語の面接は英検準２級程度のレベル・形式に準拠し、発音・イントネーションに加え、単語だけでなく、英文として答えられているかも評価します。

○質問内容と回答アドバイス

〈英語面接の内容〉
・パッセージの音読 → パッセージに関する質問
・自分の習慣などについて答える問題２問 （例：Do you think more people will have pets in the future?）
・あるテーマについて自分の意見を答える問題２問 （例：Do you often go to public libraries?）
〈英語面接のアドバイス〉
・自分の習慣や意見などは、理由や具体例を付け加えて２文で答えるようにしましょう。
〈日本語面接の内容〉
本校を志望した理由、中学校で頑張ったこと、入学後の学業や将来の目的意識、自分自身について、日常や社会への関心などを尋ねます。
〈日本語面接のアドバイス〉
・面接官の目を見て、「自分の言葉」ではっきりと伝えましょう。そのために、中学校での経験を振り返り、自分の長所や短所を整理した上で、面接官に自らの考えや意欲を具体的に伝えましょう。

○受験生へのメッセージ

英語面接は、英検準２級の過去問を活用して練習しましょう。そのなかで、自分が言えなかったことは、AI等を活用し、自分の現在の英語力でも言える表現で何というかを調べるようにしましょう。

【 併願優遇・一般入試〈3教科入試〉】

国　　語　（50分　100点満点）

○問題作成方針

中学校生活において基礎学習を積み重ねてきたか、基本的な国語力が身についているか、さらに応用問題にもチャレンジする姿勢があるかを測るため、基礎的な問題を中心に、一部応用問題も出題します。

○出題内容と解答上のアドバイス

〈出題内容〉
以下の順で出題されます。
・漢字の読み・書き
・文学的文章の読解
　小説・随想など
・説明的文章の読解
　評論など
・古典読解

〈アドバイス〉
・漢字は楷書で答えます。一画ずつ丁寧に練習し、はね等の細部もきちんと書くようにしましょう。
・読解では、本文の語句を用いた知識問題や口語文法が出題されますので、過去問や問題集で学習しておきましょう。
・本文の全体に関わる内容や表現の問題が出題されることがありますので、長文全体を時間内に読み切れるように普段から問題集で慣れておきましょう。
・古典では、中学校で学習するような歴史的仮名づかいの読み方や標準的な古典常識、大まかな内容理解の問いが出題されますので、中学校の教科書や過去問などを用いて復習するとよいでしょう。

○受験生へのメッセージ

入試本番までに、あらかじめ解く順番を決めておきましょう。またできるところから解答し、取りこぼしなく確実に得点できるようにしましょう。中学校での授業を大切にし、教科書や問題集を使って多くの文章に触れ、幅広い知識を身につけておきましょう。

数　　学　（50分　100点満点）

○方針

中学3年間で学んだ内容を、基本から応用まで幅広く出題。

○質問内容と回答アドバイス

大問１：計算問題　「数と式」を中心とした内容の小問集合（正負の数・文字と式・平方根・展開など）
大問２：計算問題　「方程式」を中心とした内容の小問集合（因数分解・各種方程式・関数など）
大問３～６：文章問題　「関数」「データの分析」「図形（平面および空間）」
※図形では証明問題必須（穴埋め形式）

時間配分に注意しましょう。特に大問１と大問２の計算問題では計算ミスのないように見直しをしっかりできる時間を確保。また、解答欄に答えを記入する際、転記ミスがないようにも注意しましょう。

○受験生へのメッセージ

基本的な入試問題を中心に作成していますが、問題集の応用問題にも取り組んでおくと、より効果的です。また、日ごろから見直しをする習慣をつけておきましょう。

英　　語　（50分　100点満点）

○問題作成方針

英検３級程度のレベル・形式に準拠し、中学校で学習する基本的な英語力を幅広く問います。リスニングとリーディングを通して、文脈を理解する能力、必要な情報を読み取る・聞き取る能力を測ります。

○出題内容と解答上のアドバイス

〈出題内容〉
★ リスニング（計20点）
・短い対話を聞いて質問に答える問題　（4択問題）　2点×5問＝10点
・短いナレーションを聞いて質問に答える問題（4択問題）　2点×5問＝10点
★ リーディング（計80点）
・空所補充問題（4択問題）　2点×15問＝30点
・会話問題　（4択問題）　2点×　5問＝10点
・長文問題４題（4択問題）　2点×　5問×4題＝40点　※ E-mail形式２題・説明文形式２題

〈アドバイス〉
・リスニング問題では、選択肢に目を通し、どんな情報を聞き取れば良いかを意識しましょう。
先に聞こえてきた単語や選択肢の単語だけで判断せず、英文全体の内容から答えを考えましょう。
・長文問題では、問題文と同じ単語がある選択肢に飛びつかず、動詞や主語まで確認しましょう。

○受験生へのメッセージ

中学校で学習するレベル（英検３級レベル）の単語・熟語・文法を、まずは確実に身につけておきましょう。 英検３級の教材や過去問題を活用し、分からない語彙は一つずつ確認しましょう。リスニングは、聞き取れなかった音を確認し、その後、もう一度自分で言えるようになるまで音読してみましょう。「自分が言える英語」は、次に同じ英語を聞いたときにはっきりと聞き取れるようになります。

面　接（　個　人　）　（5分程度）

○面接方針

質問に的確に応答し、自分自身に関することや意見を自分の言葉で伝えようとする姿勢を評価します。
また、協働して前向きに学ぶ姿勢、学校生活に対する意欲を評価します。

○質問内容と回答上のアドバイス

〈内容〉
・本校を志望した理由、中学校で頑張ったこと、入学後の学業や将来の目的意識、自分自身について、日常や社会への関心などを尋ねます。

〈アドバイス〉
・面接官の目を見て、「自分の言葉」ではっきりと伝えましょう。そのために、中学校での経験を振り返り、自分の長所や短所を整理した上で、面接官に自らの考えや意欲を具体的に伝えましょう。

○受験生へのメッセージ

面接は試される場ではなく、「自分自身を表現できる場」 と捉え、自らの性格や考え方、経験から得たものを整理しておくことが大切です。
面接官に答える際は、自分の人柄や考えがしっかり伝えられるように、具体的な理由やエピソードを示しながら「自分の言葉」に自信をもって臨んでください。